

殺虫剤

コロマイト® 乳剤

第18406号

種類名：ミルベメクチン乳剤

- 特長**
- 微生物から生まれた殺ダニ剤で、減農薬栽培では農薬としてカウントされません。(一部の県を除く)
 - 速効性に優れ、ダニの卵～成虫まで効果があります。

【有効成分】 ミルベメクチン……………1.0%

【その他成分】 1,2,4-トリメチルベンゼン(PRTR法1種-296号)
1,3,5-トリメチルベンゼン(PRTR法1種-297号)
ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル(PRTR法1種-410号)

【性状】 淡黄色澄明可乳化油状液体 【毒性】 普通物※ 【危険物】 2石-Ⅲ

【有効年限・包装】 5年・30mL×10×4

※普通物：「毒物および劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

コロマイトは三井化学アグロ(株)の登録商標です。



30ml

適用病害虫・使用方法

| 作物名 | 適用病害虫名 | 希釈倍数 | 使用液量 | 使用時期 | 本剤の使用回数 | 使用方法 | ミルベメクチン | |
|---|---|-------------------------|--|------------------|---------|--|---------|----|
| りんご | リンゴハダニ ナミハダニ キンモンホソガ リンゴサビダニ ユキヤナギアブラムシ | 1000倍 | 200~700 L/10a | 収穫前日 まで | 1回 | 散布 | 1回 | |
| もも ネクタリン | ハダニ類 モモサビダニ | 1000~ 1500倍 | | 収穫7日前 まで | | | | |
| なし | ハダニ類 ニセナシサビダニ | 1000~ 1500倍 | 収穫前日 まで | | | | | |
| おうとう | ハダニ類 | 1000倍 | 収穫7日前 まで | | | | | |
| やまのいも やまのいも(むかご) | カンザワハダニ | 100~500 L/10a | 収穫7日前 まで | | | | | |
| あずき | ハダニ類 | 1000~ 2000倍 | 100~150 L/10a | 収穫14日前 まで | | | | |
| いんげんまめ だいず | | 1500倍 | 収穫7日前 まで | | | | | |
| 豆類(未成熟) | | 1500倍 | 収穫前日 まで | | | | | |
| いちご(親株床) | 1000~ 1500倍 | 1000~ 1500倍 | 100~150 L/10a | 収穫前日 まで | 仮植前まで | | | |
| なす | ハダニ類 マメハモグリバエ コナジラミ類 チャノホコリダニ | 1500倍 | 100~300 L/10a | 収穫前日 まで | 2回以内 | | | 散布 |
| トマト | ハモグリバエ類 トマトサビダニ コナジラミ類 | 1500倍 | | 収穫前日 まで | | | | |
| きゅうり | ハダニ類 コナジラミ類 トマトハモグリバエ | 1000~ 1500倍 1500倍 | 100~300 L/10a | 収穫7日前 まで | | | | |
| すいか | ハダニ類 | 1000倍 | 100~300 L/10a | 収穫7日前 まで | | | | |
| メロン | ハダニ類 トマトハモグリバエ コナジラミ類 | 1000~ 1500倍 | 100~300 L/10a | 収穫前日 まで | | | | |
| えごま(葉) | ハダニ類 | 2000倍 | 100~300 L/10a | 収穫前日 まで | 1回 | 1回 | | |
| しそ | サビダニ チャノホコリダニ ハダニ類 | 2000倍 | 100~300 L/10a | 収穫前日 まで | | | | |
| しそ科葉菜類 (えごま(葉)、 しそを除く) しそ(花穂) | ハダニ類 | 1500倍 | 300 L/10a | 収穫前日 まで | 2回以内 | 2回以内 | | |
| モロヘイヤ | 2000倍 | 100~300 L/10a | 収穫3日前 まで ただし、 伏せ込み 栽培は 伏せ込み前 まで | | | | | |
| エンサイ | 2000倍 | 100~300 L/10a | 収穫前日 まで | 1回 | 1回 | | | |
| ふだんそう | 1500倍 | 100~300 L/10a | 収穫前日 まで | | | | | |
| はすいも(葉柄) | 1000倍 | 100~300 L/10a | 収穫前日 まで | 1回 | 1回 | | | |
| みつば | 2000倍 | 100~300 L/10a | 収穫3日前 まで | | | | | |
| さんしょう(葉) | 1000倍 | 100~300 L/10a | 収穫前日 まで | 1回 | 1回 | | | |
| パセリ | 1000倍 | 100~300 L/10a | 収穫3日前 まで | | | | | |
| かんしょ | 1000倍 | 100~300 L/10a | 収穫前日 まで | 1回 | 1回 | | | |
| ミニトマト | 1500倍 | 100~300 L/10a | 収穫前日 まで | | | | | |
| みょうが(花穂) | ハダニ類 | 1000倍 | 100~400 L/10a | 収穫前日 まで | 2回以内 | 散布、 但し花穂の 発生期には マルチフィルム 被覆により 散布液が 直接花穂に 飛散しない 状態で 使用する | 2回以内 | |
| みょうが(莖葉) | 2000倍 | 100~400 L/10a | みょうが (花穂)の 収穫前日 まで 但し、花穂 を収穫 しない場合 にあっては 開花期終了 まで | | | | | |
| コリアンダー(葉) | 2000倍 | 100~300 L/10a | 100~300 L/10a | 収穫前日 まで | 1回 | 1回 | | |
| アスパラガス | 1000倍 | 100~300 L/10a | 100~300 L/10a | 収穫前日 まで | | | | |
| セルリー | 2000倍 | 100~300 L/10a | 100~300 L/10a | 収穫3日前 まで | 2回以内 | 2回以内 | | |
| パパイヤ | 1000倍 | 200~700 L/10a | 200~700 L/10a | 収穫7日前 まで | | | | |
| 食用なでしこ さといも(葉柄) | 2000倍 1000倍 | 100~300 L/10a | 100~300 L/10a | 2回以内 | 2回以内 | 2回以内 | | |
| さく(葉) | 1500倍 | 100~300 L/10a | 100~300 L/10a | 2回以内 | | | | |
| 食用金魚草 しよくようほおすき 食用ミニバラ | ハダニ類 | 2000倍 | 100~300 L/10a | 収穫前日 まで | 1回 | 散布 | 1回 | |
| 食用プリムラ | | | | 100~300 L/10a | | | | |
| 食用カーネーション 食用エキザカム 食用せんいちこう 食用トレンシア 食用パンジー | | | | 100~300 L/10a | | | | |
| ししとう 甘長とうがらし | コナジラミ類 | 1000倍 | 100~300 L/10a | 2回以内 | 2回以内 | 2回以内 | | |
| ピーマン | ハダニ類 コナジラミ類 | 1000倍 | 100~300 L/10a | 2回以内 | | | | |
| せんぶり | シクラメンホコリダニ | 1000倍 | 100~300 L/10a | 収穫7日前 まで | 1回 | 1回 | | |
| なんてん(葉) | ハダニ類 | 2000倍 | 100~300 L/10a | 収穫前日 まで | | | | |
| さく | ハモグリバエ類 ハダニ類 | 1500倍 | 100~300 L/10a | 2回以内 | 2回以内 | 2回以内 | | |
| 宿根かすみそう | ハダニ類 | 1000~ 1500倍 | 100~200 L/10a | 2回以内 | | | | |

■については有効成分を含む農薬の総使用回数を示すものです。

使用上の注意

- (1)ハダニ類は繁殖が早く、密度が高くなると防除が困難になるので、発生初期に散布むらのないようにていねいに散布すること。
- (2)本剤の連続散布は、ハダニ類の本剤に対する抵抗性を増加させるおそれがあるので、できるだけ1回の散布とし、他の殺ダニ剤との輪番で使用すること。
- (3)ハモグリバエ防除に使用する場合、老齢幼虫に対する効果が劣る場合があるので発生初期に時期を失せず、散布すること。
- (4)高温、乾燥時の散布は薬害のおそれがあるのでさけること。
- (5)展着剤によっては薬害を助長するものがあるので、汎用性展着剤以外の使用はさけること。
特にアルキルエーテル系の展着剤は使用しないこと。
- (6)りんごに使用する場合は、混用散布すると新しょう基部及び果そう部小葉が黄化する場合がありますので注意すること。
- (7)なしに使用する場合は、薬害のおそれがあるので6月以前には使用しないこと。
- (8)洋なし(ル・レクチェ)に使用する場合は、薬害のおそれがあるので袋かけ後に散布すること。
- (9)なすに使用する場合は、効果を落さず薬害をさけるために、炎天下をさけるべく夕方に散布すること。
- (10)なすの水なす及び加茂なす(大芹川種)には薬害のおそれがあるので、使用しないこと。
- (11)いちごに使用する場合は、親株床以外では薬害を生ずるおそれがあるので、親株床以外では使用しないこと。
- (12)蚕に長期間毒性があるので、桑葉にかからないように注意すること。
- (13)ミツバチに対して軽度の影響があるので、以下のことに注意すること。
 1. ミツバチの巣箱に直接かからないようにすること。
 2. 養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意し、ミツバチの危害防止に努めること。
- (14)散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節すること。
- (15)本剤は自動車、壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色する恐れがあるので、散布液がかからないように注意すること。
- (16)適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

- (1)誤飲のないよう注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。
本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
- (2)本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し眼科医の手当を受けること。
- (3)原液は皮膚に対して刺激性があるので、散布液調製時には手袋を着用して薬剤が皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- (4)散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。また散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをすること。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨

使用残りの薬剤が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨

危険物第四類第二石油類に属するので火気には十分注意すること。

貯蔵上の注意事項

火気をさけ、直射日光の当たらない低温な場所に密栓して保管すること。